

令和 7 年 10 月 9 日
三島市立中郷小学校
校長 勝俣 咲恵

保護者 様

三島市リーフレット「伸ばそう！子どもの学力」について

初秋の候、保護者の皆様におかれましては、日頃から本校の教育活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、本年度小学校 6 年生と中学校 3 年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の三島市の分析結果をもとに、家庭で大切にしてほしいポイントをまとめたリーフレット（データ版）が、三島市教育委員会から届きました。子どもの学びを支えるためには、学校と家庭が連携して、基本的な生活習慣を確立し、学習意欲を高め、家庭学習の習慣化を図ることが大切です。

本校児童の解答傾向と今後の取り組みについては、学校便り「床しき風」10 月号を御覧ください。

また、リーフレットにつきましては、学校ブログにデータを掲載すると同時に、6 年生児童にはタブレットのメタモジクラスルーム上で配布しました。

各家庭におきましては、リーフレットをお子様とともにご覧いただき、ご家庭での学習や生活改善に役立てていただきたいと思います。

今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

なお、三島市のウェブページでもリーフレットをご覧いただけます。

問い合わせ先

担当 教務主任・岩崎

電話 9 7 7 - 1 0 5 2

伸ばそう！子どもの学力

三島市教育委員会 令和7年10月発行

全国学力・学習状況調査とは？

本調査は、子どもたちの学力や学習・生活状況を把握し、今後の教育活動に役立てていくために、実施されています。令和7年度の三島市の調査結果を分析し、三島の子どもたちのよさや今後伸ばしていきたいところをリーフレットにまとめました。

子どもたちの学力を伸ばしていくためには、学校と家庭が連携して子どもたちの学びを支えることが大切です。学校では、調査結果を活用し授業改善に取り組んでいますので、各家庭でも、このリーフレットを参考にしていきたいと思います。

調査の概要

【調査日】 令和7年4月17日（木）ただし、中学校理科のみ、4月14日～17日の指定された日に実施。

【調査対象】 小学校6年生、中学校3年生

【調査内容】 ○ 教科に関する調査（国語、算数・数学・理科）

○ 生活習慣や学習習慣に関する質問調査

※調査問題については、国立教育政策研究所ウェブページ(<http://www.nier.go.jp/>)から確認できます。

三島の子どもたちのこんなところがすてき！

- 規則正しい生活ができる子が多い。
- 平日、学校の授業以外で、学習に取り組む子が多い。
- ICT機器を頻繁に使用して学習に取り組んでいる。
- 話し合い活動を通じて、自分の考えを深める、自分とは違う考えに触れる、新たな考えに気付くことができる。

三島の子どもたちの伸ばしたいところ

- 周りの人たちとの関係をよりよくし、大切にしようとする。
- 自分の考えが上手く伝わるように、話の組み立てを考えて表現すること。

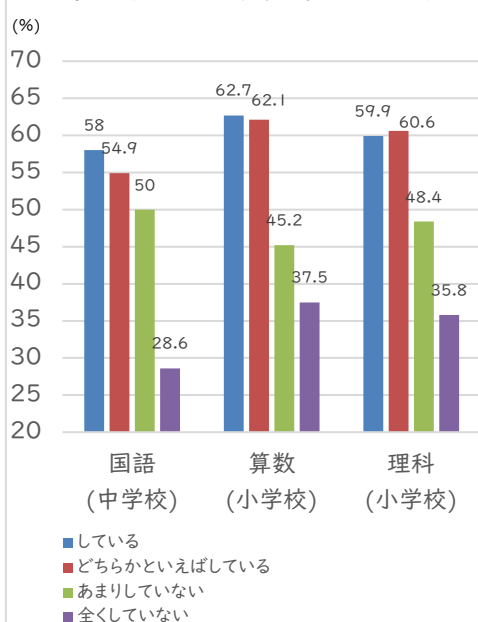
生活・学習習慣と学力の関係は？

次のような子どもたちは、
教科の平均正答率が高いことが分かりました。



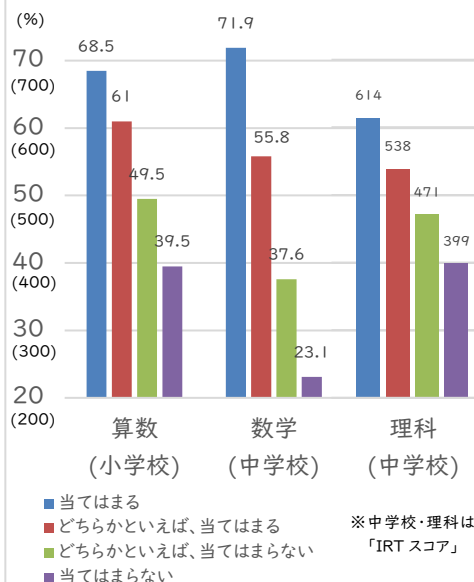
規則正しく生活をしている子

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。



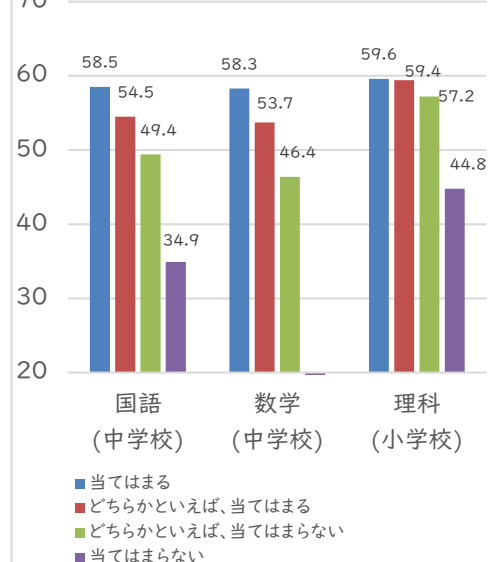
課題解決に向けて、自ら取り組める子

前学年までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。



道徳の授業に進んで取り組む子

道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。



「自分自身」「周囲の人」との対話を大切にしたいですね。

こんなところできています

- 【小学校】○ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること
- 【中学校】○ 文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えること

三島の子どもたちの伸ばしたいところ

複数の資料を読んで自分の考えをもち、目的や意図に応じた文章を書く

【中学校の問題より】

- 2 村田さんは、国語の時間に、学校の活動を地域に広げるアイデアについてスピーチをする学習に取り組んでいます。
- 四 村田さんは、【村田さんのスピーチ】の [] の内容をより分かりやすく伝えるために、＜スライド⑤＞を工夫したいと考え、あなたに助言を求めています。あなたなら、どのような助言をしますか。＜略＞ 条件1と条件2にしたがって、村田さんへの助言を書きなさい。

条件1 選んだ【工夫の仕方】について、どのように工夫するかを、具体的に書くこと。

条件2 条件1で工夫したことにより、どのように分かりやすくなるかについて、 [] の内容を具体的に取り上げて書くこと。

ポイント

伝えたいことを明確にし、複数の資料を結びつけて考えましょう！

【村田さんのスピーチ】

私は、「マリープロジェクト」をもとにしたアイデアを考えました。

「マリープロジェクト」は、皆さんも知っているとおり、…

＜略＞

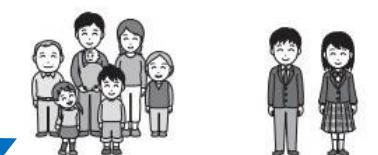
今行っている活動を工夫することで、私たちのマリーゴールドと、花を育てる楽しみが地域にも広がります。学校と地域が、マリーゴールドでつながったら、すてきだと思いますか。

これで、私の発表を終わります。



＜スライド⑤＞

「つなごうマリープロジェクト」



【工夫の仕方】

- A ＜スライド⑤＞に、言葉を加える。
- B ＜スライド⑤＞のイラストを修正したり、イラストを付け加えたりする。
- C AとBを組み合わせる。

（工夫Aを使った場合の正答例）

スライドの下之余白に、「花を育てる楽しみを地域へ」と書き加える。そうすることで、花を育てる楽しみが地域にも広がることが強調されて伝わりやすくなる。

○ [] で伝えたいことは何か？
→地域に広がることを強調したいな。

○このイラストで伝わるかな？
→このままだと地域へ広がっていることが伝わりにくいな。
→何か工夫が必要だな。

○どの工夫で解決できるかな？
→Aの工夫を選ぼう。
どんな言葉を加えたら伝わる？

○スピーチの [] の部分を使って加える言葉を考えよう。
→「花を育てる楽しみを地域へ」という言葉を加えよう！

○スライドに言葉を加えることで、「地域への広がり」が強調され、分かりやすくなるね。

ポイント

伝えたいことを明確にすることで、資料のどの部分に着目するかが決まります。



学校では

- 複数の情報の中から、自分の目的や意図に応じた情報を選択し、自分の考えを結びつけて表現する活動に取り組めます。
- 他教科でも文章や資料から、自分が思ったことや考えたことを表現する力を育てます。

家庭では

- 日常生活の中で「あなたは、どう思う？」「なぜそう思う？」など、子どもの思いから会話を広げましょう。
- 多くの情報を、多角的・多面的に受け止められるように、様々な考え方に触れる機会を増やしましょう。

算 数 ・ 数 学

紙面の都合上、調査問題を省略して示しています。

こんなところができています

【小学校】○伴って変わる2つの数量の関係を見いだすこと

○角の大きさについての理解

【中学校】○必ず起こる事柄の確率を求めること

○グラフから必要な情報を読み取ること

三島の子どもたちの伸ばしたいところ

既習事項を利用し、説明する力

小学校

【小学校】③(2)

→分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述できるかをみる問題です。

次に、ひろとさんは、 $\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ について考えています。



$\frac{3}{4}$ は $\frac{1}{4}$ の3個分、 $\frac{2}{3}$ は $\frac{1}{3}$ の2個分です。

もとにする数が $\frac{1}{4}$ と $\frac{1}{3}$ でちがうので、同じ数にしたいです。

$\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ についても、もとにする数を同じ数にして考えることができます。

もとにする数を同じ数にするとき、その数は何になりますか。その数を書きましょう。また、 $\frac{3}{4}$ はその数の何個分、 $\frac{2}{3}$ はその数の何個分ですか。数や言葉を使って書きましょう。

(正答例) $\frac{3}{4}$ と $\frac{2}{3}$ のもとにする数を同じにすると、その数は $\frac{1}{12}$ になります。 $\frac{3}{4}$ は $\frac{1}{12}$ の9個分、 $\frac{2}{3}$ は $\frac{1}{12}$ の8個分です。



“もとにする数”って何？

分母がちがう分数の足し算は、通分すれば計算できることは知っているんだけど…。



$$\frac{3}{4} + \frac{2}{3} = \frac{9}{12} + \frac{8}{12} = \frac{17}{12}$$

になったよ。でも、“もとにする数”を使ったのかな？

“もとにする数”は、これまでの学習でも使ってきたんだよ！

たとえば、

ポイント

0.5+0.3のような小数の足し算も、**0.1をもとにする数**とすると、5+3として計算することができたね。



$\frac{3}{4}$ のもとにする数は $\frac{1}{4}$ 、 $\frac{2}{3}$ のもとにする数は $\frac{1}{3}$ だから、**もとにする数を $\frac{1}{12}$ にそろえて計算する**んだね。

それが、みんなが知っている通分だよ。

中学校

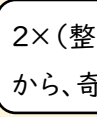


結菜さんの式の変形から「連続する2つの3の倍数の和は、3の倍数」といえるね。

式の形が違うけど、太一さんの式も結菜さんの式と同じことが言えるんじゃない？



太一さんの式は $2 \times (\text{整数})$ になっているよ。



$2 \times (\text{整数})$ は偶数になるね。そこに+1があるから、奇数を表すのかな。



そうだね。

ポイント

式の形に着目して考えることが大事なね。

【中学校】⑥(2)

→式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することができるかをみる問題です。

(2) 連続する2つの3の倍数の和は、9の倍数になるとは限らないことに気づいた二人は、連続する2つの3の倍数の和がどんな数になるかを調べることにしました。

そこで、二人は、 n を整数として、連続する2つの3の倍数を $3n$ 、 $3n+3$ と表してそれらの和を計算し、それぞれ次のように式を変形しました。

結菜さんの式の変形

$$\begin{aligned} 3n + (3n + 3) \\ = 3n + 3n + 3 \\ = 6n + 3 \\ = 3(2n + 1) \end{aligned}$$

太一さんの式の変形

$$\begin{aligned} 3n + (3n + 3) \\ = 3n + 3n + 3 \\ = 6n + 3 \\ = 2(3n + 1) + 1 \end{aligned}$$

太一さんの式の変形の $2(3n + 1) + 1$ から、連続する2つの3の倍数の和は、どんな数であるといえますか。「～は、……である。」という形で書きなさい。

(正答例) 連続する2つの3の倍数の和は、奇数である。

学校では

○既習事項を活用し、説明する場面を意図的に設定します。

家庭では

○学校で習ったことを話題にするなどして、子ども自身が説明する機会を設けてみましょう。

理 科

紙面の都合上、調査問題を省略して示しています。

こんなところできています

【小学校】○ 自分たちで条件制御して、実験した経験が身に付いている。

【中学校】○ 実験や観察を通して、基本的な知識や技能が身に付いている。

三島の子どもたちの伸ばしたいところ

自ら問いを持ち、その問いの解決のために、仮説を立て実験し、妥当な考えを持ち、表現する力

小学校

【小学校】②(1)

アルミニウム、鉄、銅の性質について、下の 1 から 4 までの中からそれぞれ1つ選んで、その番号を書きましょう。同じ番号を選んでもかまいません。

- 1 電気を通し、磁石に引きつけられる。
- 2 電気を通し、磁石に引きつけられない。
- 3 電気を通さず、磁石に引きつけられる。
- 4 電気を通さず、磁石に引きつけられない。

アルミニウムは電気を通さないかな？

ポイント

次のことをおさえよう！

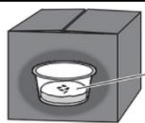
- ☑ 金属は全て電気を通すこと
- ☑ 金属には色々な種類があり、その中で鉄は磁石に引き付けられること

【小学校】③(4)

たかひろさんたちは、レタスの種子を発芽させようとしています。

レタスの種子を発芽させようと思って、水、空気、温度の条件を下のようにしたのに、1つも発芽しなかったよ。

たかひろ



しめさせた
だっし綿

〈条件〉

- ・水あり
- ・空気あり（種子が空気にふれている）
- ・温度（室温）
- ・日光なし（箱をかぶせている）
- ・肥料なし

調べたい条件を見いだして、「～は必要なのだろうか」という文末でまとめる必要があります。

ポイント

(4) てるみさんは、調べてみたいことをもとに、新たな【問題】を見つけました。てるみさんは、どのような【問題】をみつけ見つけたと考えられますか。その【問題】を1つ書きましょう。

水、空気、温度のほかにも、レタスの種子が発芽するために、必要な条件があるのかもしれない。レタスの種子が発芽するために必要な条件を、（中略）調べてみたい。

てるみ

中学校

【中学校】①(2) 課題を設定する場面



理科の実験で使用する水は精製水です。精製水について、調べたことを発表しましょう。

精製水は、水道水を蒸留したり、ろ過したりすることによってつくった水です。



課題を設定する



Aさん

【Aさんの疑問】

理科の実験では、なぜ水道水ではなく精製水を使うのかな？

【Aさんの疑問】

を調べたり、実験を行ったりして解決するためには、どのような課題にすればよいですか？



課題は、（ ）にしようと思います。

【Aさんの疑問】を解決するために、（ ）に適切な課題を書きなさい。

課題を「水道水と精製水について」としたらどうか。



それだと、【Aさんの疑問】を解決する課題になっていないよね。

ポイント

そうですね。水道水と精製水に着目していますが、この課題では、どのようなことをしていきたいかわかりません。適切に疑問を表現する力を付けていきましょう。

正答の例は、

A 水道水と精製水の性質には B どのような違いがあるか調べよう。

A: 両方の性質に着目し、
B: 【Aさんの疑問】を解決しようとする。
これら2つを含むことが大切です。



学校では

- 子どもが自ら問いを持ち、活動していく授業をしています。
- 自分の考えをまとめたり表現したりする場面を多く設定します。

家庭では

- 子どもが感じたことに共感したり、一緒に考えたりする時間を大切にしましょう。
- インターネットで調べるだけではなく、実際に「見る」「触れる」「作る」などの体験を家庭でも増やしましょう。